

# こだわりのキャッチコピーで魅力を伝える

## 「本の帯創作コンクール」ベルマーク賞決まる

本の魅力を伝える「帯」を小学生がデザインする、大阪こども「本の帯創作コンクール」(大阪読書推進会、朝日新聞大阪本社主催)の受賞者が決まりました。19回目となる今年度は、全国9都府県から計312校、9022点の応募があり、93作品が入賞。



ベルマーク賞には大阪府高槻市の市立清水小学校2年、氏家美幸さんの作品が選ばれました。

コンクールは、課題図書部門(低、中、高学年の部)と自由図書部門(全学年)の2部門。氏家さんは、課題図書のひとつ『カッパーノ』(森くま堂・作、いわさきさとこ・絵、BL出版)の帯を制作しました。

帯には、「さらをうばわれた!?!」「だ



いじなさらをうばわれたカッパーノ。とりもどすためのたびがはじまる!!さいごはまさかの…」というキャッチコピーと、悲しげな表情で旅に出るカッパーノの「カッパーノ」を描きました。キャッチコピーの文章は、この後の展開が気になる表現にして、読者の興味を引きつける工夫をしました。文字は、限られた帯のスペースでもはっきり見えるように、マジックを使って同じ太さにしたそうで

す。「来年は、本屋さんで売られるくらいすごいものを作りたいです」と美幸さん。すでに意気込み十分です。



課題図書部門で大阪府知事賞などに入賞した9作品は、印刷され実際の本の帯となり、大阪府内の書店に並びます。

受賞者一覧は、大阪府書店商業組合のホームページからご覧になれます。

# 発表会・競技会でよい結果を出せそう

## 上天草市立教良木小と出水市立大川内小で一輪車講習会

熊本県上天草市の市立教良木小学校(金子美智校長、児童18人)で10月20日、財団がへき地学校向けに主催している一輪車講習会が開かれました。

同小の子どもたちは週1回、放課後に地域の人たちと活動をする「わいわいクラブ」で一輪車の練習を続けています。来年2月の発表会に向けて特訓中だそうです。

講師は、全国や世界大会で優勝した経験のある佐藤彩香さんと小木真由子さんです。まずは、小木さんが体育館でソロ演技を披露。続いて、低学年と高学年に分かれて、講師が直接指導しました。うまく乗ることのできなかった低学年の子



が佐藤さんの手ほどきで乗れるようになると、見守っていた地域のみなさんからも声が飛

び交います。小木さんは高学年の子に、長く美しく乗ることの出来るコツを伝授。見学していた家族は「こんなに短時間に見違えるようになるなんて」と2人の指導力に驚いていました。

最後は全員で手をつなぎながら、体育館の端から端まで走行する演技に挑戦しました。4年生の榎田晃大さんは「クラブでは大きな技をやったことがなかったけれど、恐怖心をなくしてチャレンジすることができました」とお礼の言葉を述べました。

鹿児島県の出水市立大川内小学校(遠竹伸一校長)では10月14日に一輪車講習会が開かれました。この日は、同市内の上場小学校(山本裕三校長)と合同での講習会となりました。

大川内小の児童21人、上場小8人の計29人の児童たちが体育館に集まると、山本校長は「今日は素晴らしい一輪車の指導をしてもらえます。きっと、いつも

頑張っているみんなへのご褒美だと思います」と話しました。講師は、佐藤彩香さんと、数々の国内外の一輪車競技大会で優勝経験のある鈴木奈菜さん。実技指導は、講師の「一輪車に乗る前、初めに確認してほしい大事なことがあります」という話から始まりました。タイヤの空気は十分に入っているのを確認することや、サドルの前と後ろを確認して、身長に合わせて高さを調節することを教わりました。思わぬ事故やケガを予防するための基本です。



講師は最後のあいさつで「1時間でみんなすごく成長しました。来週の競技会でも今日のことを思い出してくれたらよい結果につながると思います」と話しました。

# 「しくみ分かった」「アルファ線が見えた」

## 理科実験教室、大田原市立須賀川小と静岡市立梅ヶ島小中で

栃木県大田原市にある市立須賀川小学校(田代充校長、児童34人)で、ベルマーク財団のへき地校支援事業「理科実験教室」が10月25日に開かれました。

登場したのは、講師の「Dr. ナダレンジャー」と助手の「ナダレンコ」。2人とも眼鏡に地下足袋、金髪とピンクのカツラという怪しい格好ですが、実は2人の正体は国立研究開発法人防災科学技術研究所の元研究員、納口恭明さんと元専門員の樽優子さんです。



突風や土砂崩れ、液状化現象をミニチュアで再現した実験を披露しました。「災害を起こす自然現象は、巨大化すると怖いけれど、ミニチュアにするとおもしろくなります」とDr. ナダレンジャー。

土砂崩れの実験で取り出したのは、中に発泡スチロールの細かい粒が入った長いビニール袋。巨大な扇風機で中に空気

を入れて膨らませ、子どもたちの目の前で傾けると、正面から土砂に見立てた粒が迫ってきました。「東京ドームにこの粒を満タンに入れて山の上から流すと、新幹線と同じ時速300kmくらい」とDr. ナダレンジャー。

授業を振り返って子どもたちは、「自然災害を理科の実験に例えると良く分かった」「建物の一定のリズムに合わせると全部揺れることが分かった」と感想を伝えました。

11月2日には静岡市立梅ヶ島小中学校(平野恵司校長、児童・生徒18人)では「高エネルギー加速器研究機構(KEK)」の青木優美さんによる理科実験教室が開かれました。



茨城県つくば市にあるKEKは、加速器と呼ばれる装置を使って基礎科学を研究しています。高エネルギー加速器は、

電子や陽子など粒子を光の速度近くまで加速して高いエネルギー状態を作り出す装置です。青木さんは、素粒子実験が専攻の理学博士です。ベルマーク財団とKEKのコラボは今回が初めてです。



実験に使ったのは「霧箱」。霧箱とは、宇宙の謎を解く「ヒッグス粒子」の発見につながり、これまでノーベル賞を3つ取った装置です。実験では、霧箱の中にアルコールを入れ、ドライアイスで冷やします。キャンプ用のランタンなどに使うトリウムから放射される微量の「アルファ線」を観測します。懐中電灯で照らしながら観察すると、光の中に浮かび上がる放射線の「軌跡」を見ることができました。児童からは「アルファ線を見ることができてうれしかった。家に帰って、家族に自慢します」との感想がありました。

# 大台達成校

11月		
東舞子小	神戸市垂水区	7,001,306
桃園小	大阪府高槻市	6,001,331
吹上小	青森県八戸市	5,023,159
氷川小	埼玉県草加市	5,021,037
増戸小	東京都あきる野市	5,018,432
鷺沼小	川崎市宮前区	5,001,366
米丸小	金沢市	5,064,824
南大内小	京都市南区	5,013,190
桜台小	兵庫県伊丹市	5,007,861
公集小	山口県下松市	5,059,798
柏崎小	青森県八戸市	4,026,907
学び舎ゆめの森	福島県大熊町	4,057,119
秋山小	茨城県高萩市	4,051,985
南部小	千葉県野田市	4,034,210
東部小	千葉県鎌ヶ谷市	4,033,603
八ヶ崎小	千葉県松戸市	4,031,623
東山の下の小	新潟市東区	4,009,869
府中南小	広島県府中町	4,038,347
伊万里小	佐賀県伊万里市	4,009,635
峰小	宇都宮市	3,012,177
梨香台小	千葉県松戸市	3,037,591
蘇我中	千葉市中央区	3,026,240
上星小	神奈川県海老名市	3,005,361
豊岡小	横浜市鶴見区	3,007,544
井口小	広島市西区	3,006,456
大山田北小	三重県桑名市	2,009,911
春日東小	福岡県春日市	2,010,554
平岡小	札幌市清田区	1,001,649
遠軽高	北海道遠軽町	1,013,545
高野小	茨城県守谷市	1,003,589
富津保育園	千葉県富津市	1,009,074
品濃小	横浜市戸塚区	1,013,055
芦原中	福井県あわら市	1,006,257
加津佐小	長崎県南島原市	1,049,035
五十鈴小	宮城県門川町	1,004,224